

## 一般社団法人 エネルギー・資源学会

### 令和5年度 事業計画書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

#### 1. はじめに

令和4年度は、2050年カーボンニュートラルを目指した取り組みが本格化した一方、ロシアのウクライナ侵攻によりエネルギーセキュリティにも大きな関心が集まった。令和5年度は、コロナウイルスに関連する法的規制が緩和されることを見据え、対面開催の行事等を復活させていくとともに、ハイブリッド会議等も活用し活発で親しみやすい学会活動を行う。また、行事・会費収入の減少が続く中、会員からの要望・意見も取り上げ、持続可能な学会運営のための改革を進める。

#### 2. 企画関係事業計画

##### (1) 研究発表会

学会員の研究成果を発表する場として、第42回エネルギー・資源学会研究発表会を8月1日・2日に2日間の日程で開催する。

##### (2) エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス

研究成果発表の場として関連団体との共催で第40回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス（以下、コンファレンスという）を1月下旬に2日間の日程で開催する。

##### (3) 特別講演会

研究発表会・コンファレンス開催に合わせて、特別講演会を都合2回、開催する。

##### (4) 研究プロジェクト

現在進めている研究プロジェクト「エネルギーのカーボンニュートラル化に関する調査研究」の第二期（後半）の調査・研究（海外調査を含む）を行う。

##### (5) 懇話会

エネルギー・資源・環境・経済等をキーワードとした喫緊のテーマについて、各界から第一人者である話題提供者を招聘し、参加者と自由闊達に意見交換する懇話会を年6回、開催する。会終了後には、話題提供者を交えた技術交流会を行う。

##### (6) 研究部会・ワークショップ

多様なバックグラウンドを持つ若手参加者を中心に、研究テーマを設定し基本的な議論・ディベートやチームビルディング過程を体験しながら意見交換や技術交流を行う場として、オータムワークショップ2023を10月頃で開催する。

##### (7) 研究委員会

###### ① 2050年に向けた日本のエネルギー需給

日本のエネルギー需給のかかえる課題や解決策を議論する場として活動を継続する。

###### ② 家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査利用研究会（第四フェーズ）

環境省の実施している家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計の調査票を利用し、研究会メンバーそれぞれの研究領域から多様な視点で分析し、意見交換や議論をすすめる、その成果を学会会員、学会外に対し広く発信する。

#### (8) 講習会・講座

最新の研究や技術開発の動向等について、専門家講師による講習会、講座を年数回、開催する。

#### (9) 研究会・見学会

エネルギー・資源・環境に係わる最新設備の見学や専門家の講演等を通じて、最新知見を得られる場として、研究会・見学会を年数回開催する。

#### (10) エネルギー施設の防災・安全対策研究会

学会員の災害対策・安全対策に資することを目的として、原子力発電所等のエネルギー関連施設の見学会等を行う。

#### (11) その他

##### ① エネルギー検定（日本エネルギー学会との共同企画）

学会ウェブサイトからエネルギー検定を受験できるように設定する。

##### ② 共催行事への対応

本学会の目的に合致する場合、他の団体との共催行事を開催する。

##### ③ 受託研究の受注

本学会の目的に合致する場合、受託研究を行う。

### 3. 編集関係事業計画

#### (1) 会誌「エネルギー・資源」の刊行

年6回奇数月の10日に会誌を刊行し、電子版をウェブサイトに掲載する。

正会員Aおよび特別会員には、製本された会誌を送付する。

#### (2) 査読論文の掲載

投稿された研究論文・技術論文のうち、査読を経て採択されたものは、要旨を会誌に、全文をJ-STAGE上の「エネルギー・資源学会論文誌」に公開する。また、会誌への英文投稿も受け付ける。

### 4. 総務関係事業計画

研究発表会の開催に合わせて、第12回学会賞・学会貢献賞、第11回茅賞・学生発表賞、第19回論文賞の表彰式を開催する。

### 5. 主な会議予定

#### (1) 社員総会

令和5年度（第44期）定時社員総会を令和5年6月7日に大阪で開催する。

#### (2) 理事会

定例理事会を3回、臨時理事会を1回、開催する。あわせて学会賞・学会貢献賞選考委員会を年2回程度、開催する。

#### (3) 企画実行委員会

行事の企画、実行計画の策定・承認等を目的として、企画実行委員会を年間5回、開催する。あわせて茅賞・学生発表賞選考委員会を年2回程度、開催する。

#### (4) 編集実行委員会

会誌の企画等の審議を目的として編集実行委員会を年間6回、開催する。あわせて査読委員会を年間6回、論文賞選考委員会を年3回程度、開催する。

#### (5) 総務委員会

理事会に上程する議案の整理等を目的として総務委員会を年3回、開催する。

以上